

『道路橋の点検支援技術活用講習会』を開催

国土交通省では、労働力不足が懸念される中、今後増大するインフラの点検をより効果的・効率的に行うため、点検支援技術の積極的な導入を行っております。

この度、「佐賀県道路メンテナンス会議」※において、佐賀県内の地方公共団体支援の一環として地方公共団体職員等を対象に、道路橋の点検支援技術活用講習会を開催します。

この講習会は、橋梁点検において点検支援技術に対する理解を深め、橋梁点検を行う上での支援技術の活用方法や留意点等に関する知見を習得し、地方自治体の橋梁点検に活用してもらうことを目的として開催するものです。

※ 「佐賀県道路メンテナンス会議」は、佐賀県内の各道路管理者等が相互に連絡調整を行うことにより、適切な道路構造物の保全を行い、円滑な道路管理の促進を図ることを目的とした会議です。

記

- <日 時> 令和7年11月5日（水）14時00分～
<場 所> 国道34号 高木瀬高架橋下（別紙地図参照）
<内 容> 【点検支援技術】
① 点群データを活用した構造物表面の剥離・剥落等の損傷部検出技術（MEMOREAD）【技術番号：BR020037-V0125】
② AI技術を用いた打音検査器（PDC-200A）【技術番号：BR020033-V0125】
【点検補助機器】
③ Pix4D、ファイバースコープ、水中ドローン等

◇報道関係者の皆様へ

取材を希望される方は、前日の15時までに、別添申込書に記載のうえ、佐賀国道事務所管理第二課までFAXをお願い致します。

なお、悪天候等により開催を中止する場合があります。（その際は事前連絡します）

問い合わせ先

（佐賀県道路メンテナンス会議 事務局）

■ 国土交通省 佐賀国道事務所 TEL0952-32-1151(代表)

技術副所長 甲斐 猛 (内線:205)

管理第二課長 松坂 千寛 (内線:441)

■ 佐賀県 県土整備部 道路課 道路安全推進室 TEL0952-25-7156(直通)

室 長 江口 隆司

副 室 長 九重 宏樹

取材申込書

取材を希望される方は、事前にご登録をお願いいたします。

FAX 送信期限：１１月４日（火） １５：００まで

FAX 送付先　：佐賀国道事務所 管理第二課 古賀、瓜生

FAX 番号　　：０９５２－３３－６９６３

※ 取材に当たっての留意事項について

- ・ 腕章の着用を必ずお願い致します。
- ・ 現場内では安全管理のため、禁煙とします。
- ・ 駐車スペースが限られているため、車でお越しの際は、極力乗り合わせをお願い致します。
- ・ 現場内で服や靴が汚れる場合もございますので、あらかじめご了承下さい。
- ・ 取材を希望される場合は本紙下欄に報道機関名・取材者名・ご連絡先を記載のうえ送付をお願いします。

■報道機関名

■取材者名

■連絡先（代表者の連絡先）

■ 実 施 日： 令和 7 年 11 月 5 日（水）

■ 会 場： 高木瀬高架橋下 国道 34 号 27k160 付近

■ タイムスケジュール

時 間	内 容
14 : 00～14 : 10（10 分）	開会挨拶
14 : 10～14 : 20（10 分）	点検支援技術について
14 : 20～15 : 50（90 分）	(1) 点検支援技術について ① 点群データを活用した構造物表面の剥離・剥落等の損傷部検出技術（MEMOREAD）【技術番号:BR020037-V0125】 ② AI 技術を用いた打音検査器(PDC-200A)【技術番号:BR020033-V0125】 (2) 点検補助機器について ③ Pix4D、ファイバースコープ、水中ドローン等 ※3 班に分かれて①～③の講習を順次実施
15 : 50～16 : 10（20 分）	質疑応答
16 : 10～16 : 20（10 分）	閉会挨拶、解散

■ 現場位置図



【講習会場】

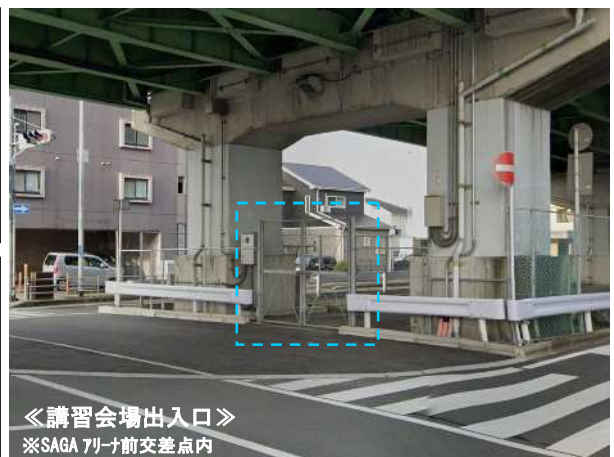
高木瀬高架橋下管理地内（位置図青枠箇所）
 ※SAGAアリーナ前交差点内の門扉（アリーナ側）よりお入りください

【駐車場】

佐賀総合庁舎駐車場（佐賀市八丁畷町 8-1）
 ※駐車場から研修会場まで約 280m

※ 注意事項 ※

- ・講習会中は、ヘルメットをご着用ください。
- ・歩行者、通行車にご注意ください。
- ・担当者が安全に関して声掛けをいたしますので、指示に従うようお願いいたします。
- ・ゴミやタバコの吸殻はお持ち帰りください。



《講習会場出入口》
 ※SAGAアリーナ前交差点内

点検支援技術の紹介

■ 点検支援技術性能カタログ掲載技術

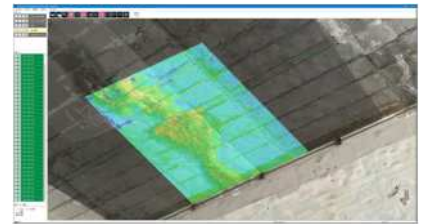
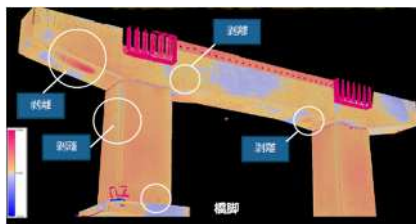
近接目視を補完・代替充足する技術の紹介

点検支援技術①：点群データを活用した構造物表面の剥離・剥落等の損傷部検出技術（MEMOREAD）[技術番号：BRO20037-V0125]

◆効果：作業の効率化

◆技術概要

- 点群データから構造物表面に現れた剥離、剥落、その他損傷箇所等の凹凸部をグラデーションにより色表示で可視化し、損傷部を検出する技術である。
- 差分解析技術により面積計算、容積計算、損傷図作成等作成が可能となる。

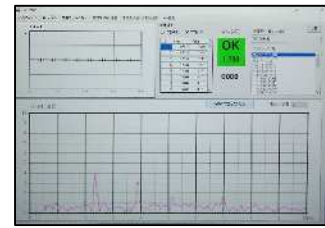


点検支援技術②：A I 技術を用いた打音検査器（PDC-200A）[技術番号：BRO20033-V0125]

◆効果：作業の精度向上

◆技術概要

- A I 打音検査器（PDC-200A）は人力型による打撃音を付属のマイクで集音、デジタルデータ化したものを FFT 変換後、A I を用いた判定手法でうきの有無を器械が判断する技術である。
- 専用アプリケーションをインストールすることで、タブレットにて波形を表示させ、現場でうきの有無を確認することが可能となる。



点検支援技術③：点検補助機器（Pix4D、ファイバースコープ、水中ドローン等）

◆効果：不可視部の近接目視の代用

◆技術概要

- Pix4D(※)、ファイバースコープ、ドローン、水中ドローン、360 度カメラ、CCD カメラ、検査ミラー等

※技術名称：モバイル端末による 3 次元計測ソリューション「PIX4D シリーズ」、NETIS 登録番号：KT-230067-A



[Pix4D]



[ファイバースコープ]



[ドローン (DJI MAVIC3)]



[水中ドローン]



[360 度カメラ]